

## 第4 死亡野鳥のレベル別回収区分一覧

(令和6年10月現在)

発生状況と対応レベル		死 亡 野 鳥 等 調 査			
		検査優先種 1	検査優先種 2	検査優先種 3	その他の種
対応レベル1	通常時	1羽以上	3羽以上	5羽以上	5羽以上
対応レベル2	国内単一箇所発生時 (近隣国発生時等)	1羽以上	2羽以上	5羽以上	5羽以上
対応レベル3	国内複数箇所発生時 (近隣国発生時等)	1羽以上	1羽以上	3羽以上	5羽以上
その他	*早期警戒期間(9月～10月) 対応レベル3相当	1羽以上	1羽以上	3羽以上	5羽以上
	*野鳥監視重点区域 発生地周辺(半径10km以内)	1羽以上	1羽以上	3羽以上	3羽以上
検査優先種一覧		(カモ目カモ科) ヒシクイ マガン シジュウカラガン コクチョウ コブハクチョウ コハクチョウ オハクチョウ オシドリ ヒトリガモ キンクロハジロ (カイツブリ目 カイツブリ科) カイツブリ カムリカイツブリ (ツル目ツル科) マナヅル ナベヅル (チドリ目カモメ科) ユリカモメ (効目効科) オジロシ オカキ ノスリ (ハヤブサ目 ハヤブサ科) ハヤブサ 計19種 ※上記に加え、 ※国内希少野生動植物種(鳥類45種：参考資料に掲載)については、検査優先種か否かにかかわらず、その希少性を踏まえ、感染が疑われる状況があった場合には、できる限り1羽から検査を実施する。 ※1: 重度の神経症状とは、音を傾けてのついたり、首をのけられなくなる状態であり、正常に飛行したり、採食できないもの。	(カモ目カモ科) マガモ オナガガモ トモエガモ ホシハジロ スズガモ (効目効科) オオワシ クマカ (フクロ目フクロ科) フクロウ 計8種	(カモ目カモ科) カガモ*2 コガモ等*2 (カイツブリ目 カイツブリ科) ハジロカイツブリ等*2 (コウノトリ目 コウノトリ科) コウノトリ (カツオドリ目ウ科) カワウ (ペリカン目サギ科) アオサギ (ペリカン目トキ科) クロツラヘサギ (ツル目ツル科) タンチョウ等*2 (ツル目クイ科) オオバン (チドリ目カモメ科) ウミネコ セグロカモメ等*2 (効目) トビ等*2 (フクロ目) コミズク等*2 (ハヤブサ目) チョウゲンボウ等*2 (スズメ目カラス科) ハシボソガラス ハシブトガラス *2: 検査優先種 1、2以外全種	(スズメ目カラス科) ミヤマガラス (スズメ目) スズメ メジロ ツバメ ムクドリ ヒヨドリ セキレイ ウグイス ツグミ ヒバリ モズ ホオジロ ジョウビタビ等 (ハト目ハト科) ドバト(カラバト) キジバト等 (キジ目キジ科) キジ ヤマトリ コジュケイ ウズラ等 (チドリ目サギ科) イソギ クサギ等 (ペリカン目ウ科) ウミウ ※上記のほか 検査優先種 1～3以外の 鳥種すべて

※ 詳細については、環境省マニュアルを参照